

とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト調査まとめ【社協事業】

本プロジェクトは、地域共生社会の実現を目指して地域のあらゆる住民や地域の企業、法人等がつながることを支援し、多様なコミュニティの形成や様々な主体による地域活動を促進するため、アンケートにより現在の県内市町地域における取組と企業等における地域活動への関わりの可能性を明らかとすることを目的に実施します。ここでは、市町の地域福祉を推進する社会福祉協議会が地域住民や多様な主体と連携協働しているもしくは、連携協働を希望する事業を紹介します。  
**※太字下線表示（最初に出てきたものを表示）の「用語」については、用語解説シートに解説を記載していますので、御参照ください。**

市町名	社協事業（1）		社協事業（2）		社協事業（3）		社協事業（4）	
	事業名（1）	事業概要（1）	事業名（2）	事業概要（2）	事業名（3）	事業概要（3）	事業名（4）	事業概要（4）
宇都宮市	宇都宮災害支援ネットワーク会議	<p>自然災害発生時の支援力を強化するためには、多様な機関・団体（宇都宮市、市社協、NPO・ボランティア団体等）が連携・協働体制を構築し、それぞれが有する機能を最大限に発揮して被災者支援に取り組むための仕組みが必要となることから、災害時における連携・協働による支援体制を考えることを目的に、ネットワーク会議を開催し、3者連携（行政、社協、ボランティア・NPO団体等）による研修等を実施している。（連携している機関・団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮ボランティア協会</li> <li>・宇都宮青年会議所</li> <li>・宇都宮大学学生ボランティア支援室</li> <li>・宇都宮大学地域デザイン科学部附属地域デザインセンター地域防災部門</li> <li>・宇都宮まちづくり市民工房</li> <li>・とちぎユースサポーターズネットワーク</li> <li>・とちぎボランティアネットワーク</li> <li>・とちぎYMCA</li> <li>・DRF宇都宮</li> <li>・栃木県社会福祉協議会</li> <li>・栃木県共同募金会</li> <li>・宇都宮市</li> </ul>	各種ボランティア講座	<p>ボランティアとして地域活動を担う人材を育むため、年間を通じて各種ボランティア養成講座を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇定員：各講座ともあり</li> <li>◇募集情報：市広報紙やボランティアセンターホームページ等で随時発信</li> <li>◇講座の種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア入門講座（ぼらんていあSaturday）</li> <li>・災害福祉救援ボランティア養成講座</li> <li>・サマーボランティアスクール</li> </ul> </li> <li>▶R6年度、市内社会福祉法人が運営している保育園での活動を実施予定。</li> <li>・傾聴ボランティア養成講座</li> <li>▶市内の社会福祉法人と連携し、認知症の理解の講義を講師として依頼している他、傾聴活動の実習を市内社会福祉施設で実施している。</li> <li>・福祉共育サポーター養成講座</li> <li>・手話、音訳、点訳奉仕員養成講座</li> </ul>				
足利市	フードドライブの実施	<p>NPO法人フードバンクあしかがと連携し、本会の施設内でフードドライブBOXを設置し食品を集めている。本会には毎週フードバンクの担当者が来所し食品を回収している。また、窓口で食事に困っている方に食品を渡せるよう食品セットを常備している。</p>						

とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト調査まとめ【社協事業】

本プロジェクトは、地域共生社会の実現を目指して地域のあらゆる住民や地域の企業、法人等がつながることを支援し、多様なコミュニティの形成や様々な主体による地域活動を促進するため、アンケートにより現在の県内市町地域における取組と企業等における地域活動への関わりの可能性を明らかとすることを目的に実施します。ここでは、市町の地域福祉を推進する社会福祉協議会が地域住民や多様な主体と連携協働しているもしくは、連携協働を希望する事業を紹介します。  
**※太字下線表示（最初に出てきたものを表示）の「用語」については、用語解説シートに解説を記載していますので、御参照ください。**

市町名	社協事業 (1)		社協事業 (2)		社協事業 (3)		社協事業 (4)	
	事業名 (1)	事業概要 (1)	事業名 (2)	事業概要 (2)	事業名 (3)	事業概要 (3)	事業名 (4)	事業概要 (4)
栃木市	<b>重層的支援体制整備事業</b> 「ちょこっとジョブ、ちょこっとボランティア応援事業」	<b>重層的支援体制整備事業参加支援事業</b> 申込者及び、 <b>生活困窮者自立支援事業</b> 申し込み者が、就労経験が乏しい、またはブランクがある、自分に自信がない等、なかなか就労に至らない方々の自信を取り戻すための第一歩をサポートするための、就労体験やボランティア活動の場を提供いただける事業所を募集し、就労体験やボランティア活動をとおして、社会参加を促すことを目的とする。 連携したい⇒企業・社会福祉法人・NPO法人・ボランティア団体等	地域福祉サポーター養成研修	年齢や障がいの有無に関わらず、地域のあらゆる住民が自分らしく、それぞれに役割を持ちながら、社会参加できる「地域共生社会」を目指しています。5年、10年後も誰もがいきいきと安心して過ごせる地域を目指すため、支えあいや、つながりについての知識、視点を身に着けることで、支えあいの地域づくりを推進することを目的とする。 連携したい⇒企業・社会福祉法人・個人商店 連携している⇒個人商店と連携し、養成講座内で個人商店が持っているミニサロン機能や見守りなどの要素が買い物の中にはあることを話してもらっている。社会福祉法人の職員さんも受講してもらうことで、サービスだけでなく、地域の中でつながりを切らずに自宅で暮らすことについて、地域住民と専門職で考える機会を作っている。	コミュニティカフェ	年齢や障がいの有無に関わらず、地域のあらゆる住民が自分らしく、それぞれに役割を持ちながら、社会参加できる「地域共生社会」を目指すために、多世代が繋がる出会いとふれあいの空間づくりを目指し、地域住民の交流の場を目的としたコミュニティカフェを開催しています。 連携している⇒スーパーのコミュニティスペースを活用し実施。 連携したい⇒地域企業や施設での施設の貸し出しや、人員の協力、利用者さんの地域のサロンへの参加等。	フードバンク事業・くらしサポート事業（食料支援）	市より委託を受け、食品ロス削減と地域福祉の増進に資するため、フードバンク事業を実施している。 また、地域の寄付金を基に実施している本会くらしサポート事業と連携し、生活困窮者等本会の支援が必要となった者に対して、緊急時における生命及び相談期間を確保し、迅速かつ適切な対応を図るため、食料支援等を行っている。 連携している⇒お寺や一部の企業。 連携したい⇒多くの食品等取り扱う地域企業
佐野市	野上地区社会福祉協議会「買い物支援事業」	野上地区は、山間部に位置し、高齢化率も高い。野上地区社会福祉協議会による、買い物に困っている地域の高齢者の買い物を支援する活動で、令和元年度より（コロナ禍は中断したが、R5年6月より再開）特別養護老人ホーム「蓬萊荘」の協力により毎月1回実施している。蓬萊荘によりワゴン車を配車し、地区社協、蓬萊荘、市社協からスタッフを出して事業を実施している。	<b>社会福祉法人連携協働事業</b>	市内19法人が参加し、地域に対して公益的な活動することを目的として組織化した。 今年度の予定 ○役員会・・・4月、7月、12月 ○定例会・・・5月、8月、1月 ○懇親会・・・8月 ○研修会・・・10月～11月				

とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト調査まとめ【社協事業】

本プロジェクトは、地域共生社会の実現を目指して地域のあらゆる住民や地域の企業、法人等がつながることを支援し、多様なコミュニティの形成や様々な主体による地域活動を促進するため、アンケートにより現在の県内市町地域における取組と企業等における地域活動への関わりの可能性を明らかとすることを目的に実施します。ここでは、市町の地域福祉を推進する社会福祉協議会が地域住民や多様な主体と連携協働しているもしくは、連携協働を希望する事業を紹介します。  
**※太字下線表示（最初に出てきたものを表示）の「用語」については、用語解説シートに解説を記載していますので、御参照ください。**

市町名	社協事業（1）		社協事業（2）		社協事業（3）		社協事業（4）	
	事業名（1）	事業概要（1）	事業名（2）	事業概要（2）	事業名（3）	事業概要（3）	事業名（4）	事業概要（4）
鹿沼市	ひとり親世帯等支援事業（こどもの遊び場&食料配布会）	学校給食が食べられない夏休み等の時期に、食事に困るひとり親世帯等へ食料の提供を行うことと、親の仕事で出かける機会がほとんどない子どもたちが楽しめる遊び場を設けることで思いづくりとなる事業。令和5年度に連携して事業に協力をいただいた団体は次のとおり。鹿沼市ひとり親家庭福祉会、鹿沼市ボランティア連絡協議会、株式会社LIXILトータルサービス、株式会社ダイナム栃木鹿沼店、一般社団法人鹿沼青年会議所、Mipox株式会社、フードバンクボランティア。	中高生サマースクール（ちょこっとジョブ体験）	福祉施設等でのジョブ体験を通して、職員と利用者の関わりから自立支援や思いを学びながら、福祉を身近なものとして自分事に捉え・考え・行動することができる「きっかけ」となることを目指す講座事業。令和5年度に連携して事業に協力をいただいた団体は次のとおり。 <b>放課後等デイサービス</b> すてっぷ、就労支援B型事業所わたの実、宅老所はいこんちょ、在宅型有料老人ホーム瑠璃の里。				
日光市	多様な連携・協働（コレクティブ・イノベーション）育み事業	異なる分野や領域の様々な主体（組織、団体等）が、お互いの強みを活かしながら地域課題の解決を目指す協働・連携体制の基盤整備を行うため、連絡会議や研修等を開催する。（「日光CSR推進連絡会」の運営等）  【連携先】 ・日光CSR推進連絡会の構成機関（日光市商工課、日光商工会議所） ・スマイル日光プロジェクト（CSRを推進する地元の企業集団） ・その他、市内の企業等	<b>社会福祉法人の「地域における公益的な活動」推進事業</b>	社会福祉法人における「地域における公益的活動」の義務化を背景に、市内法人（福祉施設）連絡会において、連携・協働による課題解決の活動等を実践する。 （「日光市社会福祉法人・福祉施設連絡会」の運営等）  【連携先】 ・日光市社会福祉法人・福祉施設連絡会の構成法人（市内の社会福祉法人・施設）	ガス商業協同組合との地域見守り活動事業	ガス商業協同組合・社協が連携し、高齢者、障がい者および児童の緊急事態などに、適切かつ速やかに対応する地域見守り体制を構築する。  【連携先】 ・栃木県プロパンガス商業共同組合（日光市内のガス事業者）		

とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト調査まとめ【社協事業】

本プロジェクトは、地域共生社会の実現を目指して地域のあらゆる住民や地域の企業、法人等がつながることを支援し、多様なコミュニティの形成や様々な主体による地域活動を促進するため、アンケートにより現在の県内市町地域における取組と企業等における地域活動への関わりの可能性を明らかとすることを目的に実施します。ここでは、市町の地域福祉を推進する社会福祉協議会が地域住民や多様な主体と連携協働しているもしくは、連携協働を希望する事業を紹介します。  
**※太字下線表示（最初に出てきたものを表示）の「用語」については、用語解説シートに解説を記載していますので、御参照ください。**

市町名	社協事業（1）		社協事業（2）		社協事業（3）		社協事業（4）	
	事業名（1）	事業概要（1）	事業名（2）	事業概要（2）	事業名（3）	事業概要（3）	事業名（4）	事業概要（4）
小山市	<b>生活支援体制整備事業</b>	地域の誰もが安心して暮らせるよう「地域での支え合いの仕組み」を構築することが生活支援体制整備事業です。そして、「高齢者を含む、地域に住む人々の生活支援をはじめとした、さまざまな“場（機会）”や“仕組み”を、地域住民みんなで作っていき」ことを目標としています。 現在は各自治会が主体の買い物支援において、介護事業所の送迎車を使って送迎の協力をしていただいている事業所もごさいますが、高齢者の病院への送迎支援、地域の居場所として使える場の提供、そこで活動するボランティアとしての協力など、企業様・法人様には社会貢献活動の一環として、見守り、ささえあいの輪を広げる手助けをお願いいただければと願っております。						
真岡市	生活支援体制整備事業（市受託事業）	真岡市を7地区に分け、それぞれの地区に高齢者等の支援体制を整備するための協議体の設置を進めている。 <b>ごみ出し支援</b> や見守り活動の充実等、各地区で決定した取組を展開している。	補助金交付事業	見守りやごみ出し支援等の取組に対する補助金や <b>こども食堂</b> やフードバンク等の地域課題解決に向けた取組に対する補助金を整備し、令和7年度からの交付を準備している。	災害ボランティア支援委員会運営事業	災害発生時のボランティア派遣対応に向けた委員会を設置し、災害ボランティア運営訓練等を実施している。		
大田原市	重層的支援体制整備事業（2年間の移行準備期間中）	社会復帰や、復帰のための社会とのつながりづくりを目的とした参加支援への協力として、市内企業や福祉施設等に依頼し、相談者が多様な就労体験の機会を得たり、本人が活動することで自己有用感を得られるような場の機会を設けていきたい。	生活困窮者自立支援事業	生活や仕事、健康のこと、家族のことなど、問題解決に向けて相談者と一緒に考える。また、就職や福祉サービスの利用の相談や問題解決のために、関係機関と連携し、地域で自立した生活をおくれるよう支援する。 ★関係機関 ①市福祉課（生活保護、就労支援相談員） ②市子ども幸福課 ③地域包括支援センター（市内3か所） ④市障害者支援センター ⑤ハロワーク大田原 ⑥フードバンク県北（フードバンク、子ども食堂） ⑦ポラリス など	<b>生活福祉資金フォローアップ事業</b>	生活福祉資金特例貸付を利用している世帯に対して、現在の生活状況を伺い、課題可決に向けて相談者と一緒に考え、場合により関係機関と連携し地域で自立した生活をおくれるよう支援する。 ★関係機関 ①市福祉課（生活保護、就労支援相談員） ②市子ども幸福課 ③地域包括支援センター（市内3か所） ④市障害者支援センター ⑤ハロワーク大田原 ⑥フードバンク県北（フードバンク、子ども食堂） など		

とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト調査まとめ【社協事業】

本プロジェクトは、地域共生社会の実現を目指して地域のあらゆる住民や地域の企業、法人等がつながることを支援し、多様なコミュニティの形成や様々な主体による地域活動を促進するため、アンケートにより現在の県内市町地域における取組と企業等における地域活動への関わりの可能性を明らかとすることを目的に実施します。ここでは、市町の地域福祉を推進する社会福祉協議会が地域住民や多様な主体と連携協働しているもしくは、連携協働を希望する事業を紹介します。  
**※太字下線表示（最初に出てきたものを表示）の「用語」については、用語解説シートに解説を記載していますので、御参照ください。**

市町名	社協事業（1）		社協事業（2）		社協事業（3）		社協事業（4）	
	事業名（1）	事業概要（1）	事業名（2）	事業概要（2）	事業名（3）	事業概要（3）	事業名（4）	事業概要（4）
矢板市	生活支援体制整備事業	高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生きがいを持って暮らし続けることができるよう、地域住民や関係団体等と連携しながら、「生活支援・介護予防・社会参加」の促進と充実を図っている。 →地域住民や地域包括支援センターなど多様な主体と連携協働している。						
那須塩原市								
さくら市								
那須烏山市	多機関協働事業	相談（複合的な福祉課題等）の解決に向けて、関係機関や地域が連携し、チームとなって支援するしくみです。 既存のサービス制度や地域の活動を組み合わせるなど、多機関が協働して、相談から解決まで切れ目のない一体的な支援を目指します。	生活困窮者支援等のための地域づくり事業	生活困窮やひきこもり状態にある者とその家族等のニーズ・生活課題の把握を通し、課題解決に向けたアウトリーチやコーディネートを行うものです。 併せて、既存の地域活動や関係機関、団体、企業等社会資源との連携協働を通して、当事者の自立生活に向けた出口づくりを目指します。	生活支援体制整備事業	地域住民（自治会、民生委員児童委員、ふれあいの里、見守り組織等）と関係機関（行政、福祉施設等）の連携・協働の基、ネットワーク構築や介護予防生活支援に関するサービス・活動等の充実強化を図り、支え合いの地域づくりを目指します。		
下野市	生活困窮者自立支援事業	【就労支援】（有）国分寺産業・SANDO×SANDO自治医大店・（株）オートテクニクジャパン・（株）ダイヤ昭石（DM Gas）・A型事業所スマイル上三川・植野山林種苗トマトランドウエノ・（有）SATプロジェクト・コベルコ教習所・栃木県若年者支援機構てしごとや 【食糧支援】フードバンクしもつけ 【事業啓発（他事業も含めて）】FMゆうがお・とちぎケーブルテレビ	地域ふれあいサロン事業（通いの場）	生活支援体制整備事業において推進している通いの場において、福祉施設より会場の提供や送迎の協力をいただいている。 【連携先】有料老人ホーム新（会場提供）、デイサービスセンターかえで（会場＋参加者の送迎）、ふれんど下野（サロン利用者を対象とした買い物送迎）				

とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト調査まとめ【社協事業】

本プロジェクトは、地域共生社会の実現を目指して地域のあらゆる住民や地域の企業、法人等がつながることを支援し、多様なコミュニティの形成や様々な主体による地域活動を促進するため、アンケートにより現在の県内市町地域における取組と企業等における地域活動への関わりの可能性を明らかとすることを目的に実施します。ここでは、市町の地域福祉を推進する社会福祉協議会が地域住民や多様な主体と連携協働しているもしくは、連携協働を希望する事業を紹介します。  
**※太字下線表示（最初に出てきたものを表示）の「用語」については、用語解説シートに解説を記載していますので、御参照ください。**

市町名	社協事業（1）		社協事業（2）		社協事業（3）		社協事業（4）	
	事業名（1）	事業概要（1）	事業名（2）	事業概要（2）	事業名（3）	事業概要（3）	事業名（4）	事業概要（4）
上三川町	重層的支援体制整備事業（移行準備事業）	<b>多機関協働事業</b> として、行政や障害者相談支援センター、就労継続支援事業所と連携をし、情報共有を行いながらケースの対応をしている。	くろねえ会議（第2層協議体）	小学校区の民生委員、自治会長、福祉協力員、その他くろねえ事業に関心のある住民、福祉事業所、行政職員が集まり地域の課題について情報交換・話し合いを行っている。この話し合いで出た意見をもとに、個別の事例での課題解決につなげたり、高齢者支援協議体（ <b>第1層協議体</b> ）につなげ、地域の支え合いの仕組みづくりを行っている。令和5年度はゴミ出しについて、令和6年度は居場所についてをテーマに掲げている。				
益子町	子育て支援事業	事業内容：「子ども食堂」開設、運営の支援 連携先：道の駅ましこ	緊急一時支援事業（フードバンク）	事業内容：緊急的に食料が必要な世帯に、一定期間分の食料を現物支給し自立に向けた支援を行う。 連携先：行政（環境課）、JA女性会				
茂木町	<b>就労支援事業（中間的就労支援）</b>	生活保護受給者及び地域で引きこもり状態にある人を対象に中間的就労の機会を提供している。 提供する作業 ①美土里農園での除草・箱折り等、②学童保育の文庫のカバーコート ③フードバンク等で使用する米の袋詰め作業（不定期）	見守りネットワーク	見守り訪問活動 地域の見守りボランティアが安否確認を兼ねた見守り訪問をしている。併せて、配食サービスセンター社員が安否確認をしている。（業務委託）	生活支援事業	フードバンクにおける食品（卵）の提供 年2回（7月・12月開催）  民間企業や地域住民による食品・生活用品の寄付		
市貝町	子育て世帯・困窮者世帯向け食糧支援事業	3カ月に1回のペースで子育て世帯（小学生・中学生）を持つ世帯が主な対象とする食糧支援事業の実施  年1回 町内在住世帯向けに食料支援事業の実施						

とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト調査まとめ【社協事業】

本プロジェクトは、地域共生社会の実現を目指して地域のあらゆる住民や地域の企業、法人等がつながることを支援し、多様なコミュニティの形成や様々な主体による地域活動を促進するため、アンケートにより現在の県内市町地域における取組と企業等における地域活動への関わりの可能性を明らかとすることを目的に実施します。ここでは、市町の地域福祉を推進する社会福祉協議会が地域住民や多様な主体と連携協働しているもしくは、連携協働を希望する事業を紹介します。  
**※太字下線表示（最初に出てきたものを表示）の「用語」については、用語解説シートに解説を記載していますので、御参照ください。**

市町名	社協事業（1）		社協事業（2）		社協事業（3）		社協事業（4）	
	事業名（1）	事業概要（1）	事業名（2）	事業概要（2）	事業名（3）	事業概要（3）	事業名（4）	事業概要（4）
芳賀町	居場所づくり	<p>●子ども食堂、子どもの居場所の運営                      連携先：くれよん食堂（更生保護女性会）                      にっこり広場（ボランティアセンターはが登録ボランティア）                      月1回定期開催、町子育て支援課とも連携                      ⇒地域の農家から寄付された野菜を使ったメニュー作成、県社協を通じて企業からもらったお菓子や文房具（過去、セブンイレブンからの寄付あり）などを配布</p> <p>●地域の居場所へ資材貸出・社協事業へのボランティア協力あり                      芳志戸居場所囲炉裏、ひまわりひろば、稲毛田の居場所ひだまり、上延生の里</p>	困窮者支援事業（フードバンク）	<p>●会社や事業所で、フードドライブを呼びかけ、集まった食材や備蓄品の飲料等を定期的に寄付してくれる。匿名で食材だけでなく物品・金品を寄付（フードバンク指定寄付）してくれる町民も増えている。                      連携先：真岡ロータリークラブ 社会福祉法人蓬愛会 而今荘                      社会福祉法人光誠会 はがの杜 グループホームみささかん                      株式会社日本水泳振興会（芳賀町B &amp; G 海洋センター）                      ホンダテクノフォート、今仙株式会社 JAはが野芳賀地区女性会 芳賀町立芳賀東小・芳賀北小・芳賀南小 等</p> <p>●その他、地域の農家が、米や野菜を匿名で定期的に寄付してくれている。</p>	配食サービス	<p>●高齢者等の一人暮らし世帯等へ地域の食材を使い、栄養価や季節感を考えたお弁当を調理ボランティアが調理し、安否確認・見守りを兼ね配食ボランティアが配達している事業                      ⇒芳賀ルネッサンスから毎年梨の寄付あり。その他、農家から米や食材の寄付あり。</p>		
壬生町	ハッピーサンタクロース事業	<p>子どもたちに夢のひとつを届けるサンタクロースに扮するボランティアを養成し、青少年の健全な育成と家族の絆づくりを図る。また、若年層、シニア層の福祉活動参加のきっかけとして町内の子どもたちにプレゼントを配ることにより、幅広い年代と児童の交流が出来、児童の健全育成を目指す。令和5年度の協力団体は、壬生町・おもちゃ団地協同組合・株式会社エポック社・株式会社タカラトミー・株式会社バンダイ・JAしもつけ苺部会壬生支部・JAしもつけ青壮年部・戸崎農園株式会社・みぶのやおやさん・下表会・壬生町おもちゃ博物館・壬生町商工会青年部・宇都宮短期大学及び附属高等学校音楽科生徒等となる。</p>	手と手を結ぶおむすび事業	<p>協力団体の皆様やフードサポーター登録事業で住民の皆様からご提供いただいたお米を、小中学生のいる世帯に提供することにより、町内の子どもたちの食の充実化及び健全育成を図る。また、地域と子育て世帯の繋がりの強化を目的としている。協力事業所は、壬生町商工会女性部・JAしもつけ・JAしもつけ青壮年部・JAしもつけ女性会・町民（フードサポーター）となる。</p>	ハートフラワー事業	<p>経済的な理由等から生理用品を入手することが困難な状態にあることを「生理の貧困」と言う。全国的に見ても「親が生理用品を購入してくれない」「トイレトペーパーで代用している」などの実態があることから、壬生町民向けに無料配布を実施している。配布場所としては、町内全小中学校、役場本庁、役場出張所2か所、保健福祉センター、子育て支援センター、児童館、町民活動支援センター、児童発達支援センターとなる。小中学校においては、養護教員の協力のもと、子どもたちが利用しやすい工夫等がされている。</p>		

とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト調査まとめ【社協事業】

本プロジェクトは、地域共生社会の実現を目指して地域のあらゆる住民や地域の企業、法人等がつながることを支援し、多様なコミュニティの形成や様々な主体による地域活動を促進するため、アンケートにより現在の県内市町地域における取組と企業等における地域活動への関わりの可能性を明らかとすることを目的に実施します。ここでは、市町の地域福祉を推進する社会福祉協議会が地域住民や多様な主体と連携協働しているもしくは、連携協働を希望する事業を紹介します。  
**※太字下線表示（最初に出てきたものを表示）の「用語」については、用語解説シートに解説を記載していますので、御参照ください。**

市町名	社協事業 (1)		社協事業 (2)		社協事業 (3)		社協事業 (4)	
	事業名 (1)	事業概要 (1)	事業名 (2)	事業概要 (2)	事業名 (3)	事業概要 (3)	事業名 (4)	事業概要 (4)
野木町	地域（子ども）ふくし・思いやりプロジェクト	生活困窮者や子育て世帯に対し、町内各団体やボランティアの協力のもと食事や食品と各種専門機関情報等を提供し生活を支援する	フードドライブ事業	生活困窮者に対し生活改善につながる相談支援や福祉サービスにつなげるため、家庭・企業（従業員）で余った食品を回収し、町フードバンク等へ提供等を行うことによりその生活を支援する	ふれあいサービス（ <b>住民参加型在宅福祉サービス</b> ）事業	高齢者、障がい者、妊産婦及び乳幼児等を養育する者等が抱える日常の様々な困りごとや、公的サービスだけでは補いきれないニーズを、住民の参加と協力を得て援助する住民相互の支え合い活動を推進する		
塩谷町	見守りネットワーク事業	後期高齢者のみ世帯宅への訪問行政（警察、消防）とは連携しているが民間の団体（ヤクルト、郵便、配達業者等）との連携がほしい	困窮者、貸付相談	自立困窮者支援事業は受託していないが、町の相談員と連携している。就労活動はハローワークに行く方が多いが、困窮者に需要がありそうな就労先などは社協でも紹介できると繋がりが良いと思う。社宅や給料週払いなどが整っている警備会社の営業の方が親身に支援してくださり実際に就労に結び付いたことがある。				
高根沢町	地域の居場所づくり事業	地域住民（ボランティア）が主体となり、自治公民館等に <b>高齢者の居場所（ふれあいきいきサロン）</b> を開設する事業。サロンの運営はもとより、住民ネットワークをいかした講師、演芸発表者を自ら発掘し事業内容を盛り上げているサロンも多い。現在町内17か所設置	生活支援体制整備事業（中学校区における第2層協議体の設置）	生活支援体制整備事業において、2つある中学校区でそれぞれ生活支援協議体（北高くらし支え合い協議体、つながる絆あくつ協議体）を設置。住民井戸端会議のような雰囲気大切に、地域の課題や地域のお宝についての情報を共有。課題によっては自主的な事業を展開している。地域の居場所応援事業として「ポッチャ大会」「作品展」、見守り推進事業として「つながるアイたかねざわ事業（目印のバンダナをつけて地域の見守り、見守られ）」を実施	重層的支援体制整備事業「地域支え合いセンターまるっと」における参加支援	重層的支援体制整備事業で設置している「地域支え合いセンターまるっとボランティアセンター」において、ボランティアセンター機能を生かした参加支援事業を実施。相談者の潜在的なニーズを引き出し、活躍の場（参加の場）を提供。その際に地元公共機関や企業に協力を依頼して、ボランティア活動を紹介、もしくは創設いただいて、さらなる活躍の場（アルバイト、就職等）への一歩を作り出す事業	フードバンク事業（フードバンクたかねざわの運営）	平成29年4月に「フードバンクたかねざわ」を開設し、生活困窮者支援と食品ロス削減の取組を実施。主に地域住民や企業・法人等から食料品を募り、様々な理由により生活に困窮し一時的かつ緊急的な食料支援が必要な方に無償提供を行い生活再建の支援を実施。企業等におけるフードドライブの実施やフードポスト（回収BOX）設置などに協力を得ている。



とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト調査まとめ【社協事業】

本プロジェクトは、地域共生社会の実現を目指して地域のあらゆる住民や地域の企業、法人等がつながることを支援し、多様なコミュニティの形成や様々な主体による地域活動を促進するため、アンケートにより現在の県内市町地域における取組と企業等における地域活動への関わりの可能性を明らかとすることを目的に実施します。ここでは、市町の地域福祉を推進する社会福祉協議会が地域住民や多様な主体と連携協働しているもしくは、連携協働を希望する事業を紹介します。  
**※太字下線表示（最初に出てきたものを表示）の「用語」については、用語解説シートに解説を記載していますので、御参照ください。**

市町名	社協事業（1）		社協事業（2）		社協事業（3）		社協事業（4）	
	事業名（1）	事業概要（1）	事業名（2）	事業概要（2）	事業名（3）	事業概要（3）	事業名（4）	事業概要（4）
那須町	ふれあいルーム	ふれあい・いきいきサロン（介護予防事業のひとつとして、高齢者が住み慣れた地域で生き生きと過ごすことのできるように、高齢者が集い、通う場所「高齢者サロン」）。地域の住民が主体となって行われている。活動時の参加者の送迎支援が必要で、現在、町内社会福祉法人に相談中。	地域応援プロジェクト	子育て世代を応援するプロジェクト。食料品等を配布している。社協で購入する他、食料品や物品の寄付を充てている。	就労支援	障害やひきこもり状態にある方の就労支援を行う。様々な就労の場を確保したいことから、協力いただける企業等を募集中。		
那珂川町	<b>生活支援コーディネーター設置事業</b> （生活支援体制整備事業） ※社会参加に向けた移動支援（事業の一部）	移動手段の確保に向けた仕組みづくり ①デマンド交通を利用した買い物ツアーの実施・・・タクシー業者と連携 ②運転担い手の確保に向けた取り組み・・・地域や行政との連携 ③移動販売や宅配サービス等の情報収集・・・地域おこし協力隊等との連携						

とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト調査まとめ【地域活動】

本プロジェクトは、地域共生社会の実現を目指して地域のあらゆる住民や地域の企業、法人等がつながることを支援し、多様なコミュニティの形成や様々な主体による地域活動を促進するため、アンケートにより現在の県内市町地域における取組と企業等における地域活動への関わりの可能性を明らかとすることを目的に実施します。ここでは、市町の社会福祉協議会が把握している地域の取り組みを紹介します。  
**※太字下線表示（最初に出てきたものを表示）の「用語」については、用語解説シートに解説を記載していますので、御参照ください。**

市町名	地域の取り組み (1)			地域の取り組み (2)			地域の取り組み (3)		
	主に活動している方・団体等 (1)	取組内容 (1)	企業・法人等と連携、協働したいことなど (1)	主に活動している方・団体等 (2)	取組内容 (2)	企業・法人等と連携、協働したいことなど (2)	主に活動している方・団体等 (3)	取組内容 (3)	企業・法人等と連携、協働したいことなど (3)
宇都宮市 足利市									
栃木市	障がい者施設・福祉用具レンタル事業者・防犯防災用具商店など	小中学校での福祉教育の実施	福祉教育のメニューの立案・協力	高齢者施設	買い物支援	施設の福祉車輛や運転手の提供	高齢者施設、民生委員、ますます元気サポーター、チームオレンジメンバー	<b>認知症カフェ</b> の実施。	・施設の提供や、カフェへの送迎。 ・地域へのサロンの出張
佐野市	地域子育て応援事業（新規事業）	市内における子育て環境をより良いものとなるよう、子育てに関する福祉活動を支援し地域福祉の推進を図る。初年度は、ニーズ調査や実施事業の検討を行う。		<b>要介護者</b> サポート事業（新規事業）	日常生活に不安や問題を抱えている方への、相談体制や物資的援助を含め、支援ができる人と支援をして欲しい人とを結び付けていく総合的支援を実施し、自立した生活ができるよう継続支援をする。				
鹿沼市	ふれあいフェスタ in かぬま実行委員会	福祉とボランティアの普及・啓発と障がいのある人もない人も共に楽しみながら作り上げるボランティア主体のフェスタ。	会場の設営。	山間部等の単位自治会	市内の移動販売を実施しているスーパーに来てもらえない山間部の単位自治会の対応。	地元のスーパーや移動販売ができる事業者。			
日光市	子ども食堂（市内5か所）	【子育て支援（子ども食堂、学習支援等）】 子育て世帯や児童を対象に、食事提供や学習支援、イベント等を行っている。 ・子ども食堂めだかの学校（今市地区） ・四つ葉のクローバー（今市地区） ・わたらせ茶屋（足尾地区） ・鬼怒川子育て応援食堂（藤原地区） ・日光市立東中学校 朝カフェ（日光地区）	活動のニーズに応じた食料品等の寄付、イベントの協力等	フードバンク日光	【生活困窮者支援（食料支援等）】 市内の生活困窮者等を対象に、個別の食料支援や食品配布会等を行っている。	活動のニーズに応じた食料品等の寄付 等	ケアラーズカフェほれすと	【ケアラー支援】 令和6年4月より、住民有志により活動開始。「親や夫のケアをしている女性」を対象として、月1回、当事者同士の交流・対話の場を設けている。	現時点で、企業等との連携・協働に関するニーズは把握していない。
小山市	地域の自治会（7地区）内の住民ボランティア	買い物支援 買い物に困っている高齢者を支援するために、自治会等のボランティアと介護事業所の送迎車の協力を得て、自宅からスーパーまでの送り迎えをする活動。	送迎支援と付き添いボランティア	城東常設型サロン「じゃあ●またね」運営ボランティア	高齢者向けサロン（居場所） 高齢者を含む誰でも訪れることが出来る居場所を開設しようという趣旨のもと、空き家を利用してボランティアさんが運営する常設型のサロン。	空き家を利用して設備が古いのでリノベーションのご協力とスタッフとしての協力依頼			

とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト調査まとめ【地域活動】

本プロジェクトは、地域共生社会の実現を目指して地域のあらゆる住民や地域の企業、法人等がつながることを支援し、多様なコミュニティの形成や様々な主体による地域活動を促進するため、アンケートにより現在の県内市町地域における取組と企業等における地域活動への関わりの可能性を明らかとすることを目的に実施します。ここでは、市町の社会福祉協議会が把握している地域の取り組みを紹介します。  
**※太字下線表示（最初に出てきたものを表示）の「用語」については、用語解説シートに解説を記載していますので、御参照ください。**

市町名	地域の取り組み (1)			地域の取り組み (2)			地域の取り組み (3)		
	主に活動している方・団体等 (1)	取組内容 (1)	企業・法人等と連携、協働したいことなど (1)	主に活動している方・団体等 (2)	取組内容 (2)	企業・法人等と連携、協働したいことなど (2)	主に活動している方・団体等 (3)	取組内容 (3)	企業・法人等と連携、協働したいことなど (3)
真岡市	こども食堂	本市で把握しているものは3つあり、生活困窮世帯の子等に対する低額の食品提供を実施している。医療関係者が主催するものの中には、特に医療に結びつく必要がある方を対象としているものもある。 本会では、受け入れた寄付物品の配分や補助金の案内等を支援している。	食品等（特に粉ミルクやおむつなど）の提供。人件費を含めた運営資金の確保。活動拠点の確保。	フードバンク	本市で把握しているものは2つあり、生活困窮者等に対する缶詰等の食品を無料提供している。そのうちの1つは、外国籍の方を主として支援を行っている。どちらもNPOが運営しており、食品提供に併せて、必要があれば相談対応も行っている。 本会では、受け入れた寄付物品の配分。補助金の案内。フードバンクに併せて実施する相談所への相談員の派遣等の支援を行っている。	食品等の提供。運営資金や活動拠点の確保。物品の保管場所の確保。			
大田原市	無料外出支援事業	地区社協が、自分たちの住む地域の方を対象に、通院や買い物等の無料送迎支援を行っている。地元の福祉施設の一部を、事務所として無償で提供していただき、利用している。	資金面、車両寄付等での協力。	地域による見守り組織の活動	市内12地区で見守り組織を立ち上げ、高齢者や地域で気になる世帯、また子どもの登下校の見守り活動等を実施している。	・関係機関という位置づけで企業等も地域全体で見守りを進める。（新聞店、ガス会社等） ・資金や事業のPRでの協力	ささえあいの地域づくり（第2層協議体）	・地区それぞれに課題解決のための具体的な活動を話し合っている。	・活動の資金面、人材、場所、新しいアイデアといった、「力」を貸していただき、一緒に地域を盛り上げてほしい。
矢板市	矢板助け合いの会（やさしい手）・矢板地区第2層協議体	高齢者や障害者の暮らしの困りごとに対応できる、地域の有償ボランティア団体による片付けや買い物同行、電気店の修理、食品店の宅配、理美容店の訪問カット、建設会社によるは課の掃除などサービスを「ちょっと頼みたい有償サービス」冊子にまとめた。冊子を作成するにあたっては、地域住民らでどのような需要が多いか、話し合い、約660の市商工会員に呼びかけて協力事業者を募った。困りごとを頼める先を調べるすが無い方の一助として活用する。	今後も地域住民らと話し合い、困りごとに対応できる協力事業者を増やしていきたい。						

とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト調査まとめ【地域活動】

本プロジェクトは、地域共生社会の実現を目指して地域のあらゆる住民や地域の企業、法人等がつながることを支援し、多様なコミュニティの形成や様々な主体による地域活動を促進するため、アンケートにより現在の県内市町地域における取組と企業等における地域活動への関わりの可能性を明らかとすることを目的に実施します。ここでは、市町の社会福祉協議会が把握している地域の取り組みを紹介します。  
**※太字下線表示（最初に出てきたものを表示）の「用語」については、用語解説シートに解説を記載していますので、御参照ください。**

市町名	地域の取り組み (1)			地域の取り組み (2)			地域の取り組み (3)		
	主に活動している方・団体等 (1)	取組内容 (1)	企業・法人等と連携、協働したいことなど (1)	主に活動している方・団体等 (2)	取組内容 (2)	企業・法人等と連携、協働したいことなど (2)	主に活動している方・団体等 (3)	取組内容 (3)	企業・法人等と連携、協働したいことなど (3)
那須塩原市	中央地区こども夢”くらぶ	地域の居場所として、有志の方々が「学んで、作って、食べて、遊んで」をモットーに主に東小学校の児童を対象に遊びや学習の場、昼食の提供を行っている。毎週日曜日に実施。場所は西那須野公民館、永田町自治公民館など。 連携：地域の民生委員、東小学校、市社会福祉協議会など		南っこ夢くらぶ	地域の有志の方々が主に南小学校区を中心に子どもたちを対象にした、子どもたちの心と体の居場所の「子ども食堂」として、学習支援や体験活動、昼食の提供を行っている。基本的に第1日曜日に開催(自治会等の行事がある際は変更有り)。場所は那須塩原市南公民館。 連携：地域の民生委員、南小学校、市社会福祉協議会など		おおやまこども夢くらぶ	地域の有志の方々が、主に大山小学校区、西那須野中学校区の多くの子どもが集まることができる居場所を作り、同世代の他の子どもと交流し、互いに知り合う機会を設けることを目的に、学習支援、室内遊戯・手芸・技芸等の提供及び支援、子ども食堂(昼食 手作りカレー他)、戸外での活動・運動機械の提供及び支援・見守り、世代間交流活動などを行っている。第3日曜日に開催。場所は那須塩原市大山公民館。 連携：地域の民生委員、大山小学校、西那須野中学校、市社会福祉協議会など	
さくら市	フードバンクさくら	フードバンクさくらはさくら市社会福祉協議会が共同運営している。社協が事務局となっているが、配布会、食品管理、企画、運営はフードバンクさくらボランティアが行う。 食品の提供及び受け入れは常時実施(社協職員対応)。配布場所は、さくら市社会福祉協議会本部、氏家支部、さくら市地域共生センター(SAKUTOMO)。配布する際、相談にも応じる。市内子ども食堂への食品提供も行っている。 毎年、生活に窮する一人親世帯向け配布会・困窮者向け配布会を7月、10月、12月、3月に実施予定。	既に市内JA、氏家ロータリークラブ、氏家ライオンズクラブ等と連携しているが、より多くの企業との連携を模索している。栃木県フードバンク連絡協議会に加盟しており、この協議会として、企業との連携ができれば、とも思う。						

とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト調査まとめ【地域活動】

本プロジェクトは、地域共生社会の実現を目指して地域のあらゆる住民や地域の企業、法人等がつながることを支援し、多様なコミュニティの形成や様々な主体による地域活動を促進するため、アンケートにより現在の県内市町地域における取組と企業等における地域活動への関わりの可能性を明らかとすることを目的に実施します。ここでは、市町の社会福祉協議会が把握している地域の取り組みを紹介します。  
**※太字下線表示（最初に出てきたものを表示）の「用語」については、用語解説シートに解説を記載していますので、御参照ください。**

市町名	地域の取り組み (1)			地域の取り組み (2)			地域の取り組み (3)		
	主に活動している方・団体等 (1)	取組内容 (1)	企業・法人等と連携、協働したいことなど (1)	主に活動している方・団体等 (2)	取組内容 (2)	企業・法人等と連携、協働したいことなど (2)	主に活動している方・団体等 (3)	取組内容 (3)	企業・法人等と連携、協働したいことなど (3)
那須烏山市	SunriseProject	地域の空き店舗を活用し、内装整備とイベントを実施中である。今後店舗整備を進め、子どもから高齢者まで多世代が集い、学習・交流の場として人流れが生まれるような拠点づくりとして進めている。	イベント開催時における準備物やノベルティ配布等で協賛があると良い。 ボランティアスタッフとして人材の協力やイベント合同開催など企画と一緒に検討、実践をしていきたい。 将来的には人と人が出会い、賑わい等を創出するアンテナショップ（産業のひとつ）への発展等につなげていきたい。	地域食堂「たんぼぼ」	那須烏山市婦人会が、月1回第3土曜日に子どもから大人もどなたでも、地域住民同士と一緒に食事やゲームなどをすることで、だれでも来れる居場所として「地域食堂」を実施している。 フードバンク那須烏山で寄付のあった食品や烏山高校生徒にボランティアスタッフとして連携しながら運営をしている。	地域食堂における食材提供、調理、学習支援などスタッフ協力などで連携できる企業があると良い。現在場所は市の公民館を利用して頂いており、食事や交流に適した会場ではないことが課題となっているため、拠点として連携協働できるパートナーがあると良い。	フードバンク那須烏山	NPO法人とちぎボランティアネットワークに登録している団体である「フードバンク那須烏山」が窓口となって家庭や職場で余った食品を提供頂き、一方で食料確保が困難な方に提供し、食を通じたセーフティーネットとして生活困窮者支援に取り組んでいる。	規格外品や販売期限切れの食品を寄贈して頂ける企業があると良い。企業側にとっても、廃棄コスト削減や企業（社員）の社会貢献意識（マインド）の普及促進につながる等、地域貢献と福祉活動がシナジー効果として推進していけると良い。
下野市	有償ボランティア和ごむの会・助っ人・地域サポート根っこ会	市内旧町ごとに活動しており、地域の高齢者のちょっとした困りごとに対し、1時間500円（30分250円）で掃除、片付け、洗濯、食事作り、通院、買い物、庭の手入れ、見守りなど行っている。	移動のサポートについて車両の提供があると活動の幅が広がる可能性がある。						
上三川町	上三川のいえ コミュニティ食堂 Makana	毎週金曜日 17:00~20:00 コミュニティ食堂（旧子ども食堂） 料金：未就学児 無料、小中学生 300円 大人500円 親子の居場所、育児期女性の起業支援  食育、親子で楽しめる各種ワークショップ、教室などイベント企画運営	コラボイベント企画・運営 親子向け商品企画アイデア出し、モニター体験会 企業・法人内での子育て両立施策のブラッシュアップ会など						
益子町	tetote.lifeましこ町子ども食堂	地域とともに「子どもが安心できる居場所」を目指し、月1回、公民館で子ども食堂を開設。	継続した活動につながる資金の確保が課題であり、企業・団体等にご協力をいただきたい。	里山キャンパス益子家（宇都宮大学農学部西山研究室）	「持続可能な里山を実現する場所」「食と農が自分自身に結びつけられる場所」をコンセプトに大学生や地域の方と食事をしながらお話しする場を月1回開設。	継続した活動につながる資金の確保が課題であり、企業・団体等にご協力をいただきたい。			
茂木町	サロン（町内12か所）	町内各地でサロン活動を実施している。 各サロン 参加者数10~30名 年2~12回の開催		子ども食堂	孤食者・経済困窮者への食事提供 月1回（第3水曜日）PM5:00~PM7:00 任意ボランティア団体「大きなあれ かんか かんか」				



とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト調査まとめ【地域活動】

本プロジェクトは、地域共生社会の実現を目指して地域のあらゆる住民や地域の企業、法人等がつながることを支援し、多様なコミュニティの形成や様々な主体による地域活動を促進するため、アンケートにより現在の県内市町地域における取組と企業等における地域活動への関わりの可能性を明らかとすることを目的に実施します。ここでは、市町の社会福祉協議会が把握している地域の取り組みを紹介します。  
**※太字下線表示（最初に出てきたものを表示）の「用語」については、用語解説シートに解説を記載していますので、御参照ください。**

市町名	地域の取り組み (1)			地域の取り組み (2)			地域の取り組み (3)		
	主に活動している方・団体等 (1)	取組内容 (1)	企業・法人等と連携、協働したいことなど (1)	主に活動している方・団体等 (2)	取組内容 (2)	企業・法人等と連携、協働したいことなど (2)	主に活動している方・団体等 (3)	取組内容 (3)	企業・法人等と連携、協働したいことなど (3)
高根沢町	子ども食堂（周知をしないタイプ）	理解ある飲食店が定期的に子ども食堂を開所。町こどもみらい課を通じて対象者に周知するなどして利用者を募り食事を提供している。飲食店では食事のみならず傾聴を心掛けたかかわりを実施している。	事業費の支援	住民主体による生活支援サービス（検討中）	生活支援体制整備事業において、住民主体の生活支援サービスの創設が望まれており、本町においても生活支援コーディネーターを中心に団体の創設に向けた協議を行っている。現時点ではちょっとした困りごと（電球交換やお掃除等）やデマンドバスへの同乗などを検討している。	今後事業が開始された時、地元企業の支援（活動場所の提供、事務局機能、事業費の支援など）を希望したい			
那須町	こども食堂（団体名：「ザ・テーブル」）	週2回開催。小中学生を対象。	小中学校から食堂への送迎食材の寄付。	支え合い活動（G・小さな支え合い）	高齢者の支え合い活動送迎支援や掃除など、小さな困りごとに対応	会議の会場の借用活動者としての登録	地区社協、第2層生活支援体制整備協議会	地域サロン活動の実施など	サロン会場として、場所を開放
那珂川町	役場OB助っ人会	子育て支援（こども食堂）※学習支援の利用者に対して、食事の提供を行っている	学習支援の実施主体（委託業者）と日程調整や提供方法等について連携						

## とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト調査まとめ【用語解説】

各調査まとめに記載のあった用語について解説を記載します。

用語	解説
フードバンク フードドライブ	フードバンクとは、食品関連企業他より寄贈された食品等(以下、寄贈食品)を、福祉施設や生活困窮者の支援団体等に届ける活動のこと。 フードドライブとは、個人が食品等を寄付する運動・取り組みのこと。
重層的支援体制整備事業	これまでの福祉政策が整備してきた子ども・障がい者・高齢者・生活困窮者といった対象者ごとの支援体制だけでは、人びとが持つ様々なニーズへの対応が困難になっている情勢を受け、地域共生社会の実現に向けた施策として、社会福祉法の改正により創設された事業。(厚生労働省所管) 本事業では、市町村全体の支援機関・地域の関係者が断らず受け止め、つながり続ける支援体制を構築することをコンセプトに、「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施する。 県内の複数の市町社会福祉協議会が自治体から受託して事業を展開している。
重層的支援体制整備事業(多機関協働事業)	人々が持つ様々なニーズ、地域課題に対して、市町村や地域の支援機関が連携して解決策について検討、役割分担をしつつ社会資源の開発等を行うもの。
重層的支援体制整備事業(参加支援事業)	就労や居場所など、支援を必要とする人(本人)のニーズを踏まえた支援を提供する。地域の社会資源の活用や開発にあたっては、地元企業等との連携が重要となってくる。
生活困窮者自立支援事業	経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方に対して、個々の状況に応じた支援を行い、自立の促進を図ることを目的としている事業。複合的な課題を抱える生活困窮者を幅広く受け止め包括的な相談支援を行う自立相談支援事業(必須事業)と、本人の状況に応じた支援を行う各支援事業(任意事業)があり、自立相談支援機関(県内では、一部の社会福祉協議会が受託している)において策定される自立支援計画に基づき、各種支援が行われる。任意事業には、就労準備支援事業や家計改善支援事業等がある。
就労支援事業(中間的就労支援)	就労訓練事業。すぐに一般企業等で働くことが難しい人を対象に、訓練として、就労体験や、支援付きの雇用を提供する事業。利用者の能力や適性、状況に応じて作成した個別的就労支援プログラムに基づき、一般就労に向けた支援を中・長期で実施する。非雇用型(利用者は、事業者と雇用契約を締結せず、訓練として就労を体験する。)と支援付雇用型(利用者は、事業者と雇用契約を締結し、専任の担当者の支援を受けながら働く。)がある。
中高生サマースクール	中学生・高校生を対象として、「地域福祉やボランティア活動」への関心を高めるため、福祉施設等での体験学習や夏休み期間中に実施する講座。社会福祉協議会(ボランティアセンター)が主催している。
放課後等デイサービス	放課後等デイサービスとは、学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)第一条に規定する学校(幼稚園及び大学を除く。)に就学している障害児につき、授業の終了後又は休業日に児童発達支援センターその他の厚生労働省令で定める施設に通わせ、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与することをいう。通称:放デイ。
社会福祉法人の「地域における公益的な活動」、社会福祉法人連携	すべての社会福祉法人は、その高い公益性にかんがみ、「社会福祉事業及び第26条第1項に規定する公益事業を行うに当たっては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供するよう努めなければならない」という責務が課されており、地域の福祉ニーズ等を踏まえつつ、法人の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動が行われている。県内でも複数の社会福祉法人が連携して活動している。



生活支援体制整備事業 第1層協議体、第2層協議体、生活支援コーディネーター	生活支援体制整備事業は、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を続けられるように支援するための取り組み。介護予防や日常生活の支援を目的とし、地域住民やNPO、民間企業、ボランティアなど多様な主体が連携して行われる。 地域課題や必要な支援について市町村域で協議しているのが「第1層協議体」で、およそ中学校区域で協議しているのが「第2層協議体」である。 また、事業を中心的に推進する生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）が市町村に配置されている。
ごみ出し支援	自分一人では、ごみの集積所にごみを出すことが困難な方に対して、地域のボランティアなどで行う支援のこと。
こども食堂・地域食堂	子どもが一人でも行ける無料または低額の食堂です。子どもだけではなく、親、祖父母、近隣住民等対象を広げた活動もあり、「地域食堂」「みんなの食堂」という名称のところもある。
ケアラー支援	高齢、障害、疾病等の理由により、日常的に援助を必要とする必要とする家族、身近な人などに無償で援助を提供する方、いわゆる「ケアラー」に対する支援のこと。
配食サービス	在宅での自立した生活を支援するため、食事の確保にお困りの方に栄養バランスの良い食事を届けるもの。安否確認を合わせて行うサービスなどをいう。
高齢者の居場所（ふれあいいきいきサロン）	（介護予防事業のひとつとして、高齢者が住み慣れた地域で生き活きと過ごすことのできるように、高齢者が集い、通う場所「高齢者サロン」）。
移動支援	地域において過疎地域や家族等による支援が無い高齢者等の移動手段の確保が課題となっている。買い物や通院等要する方の送迎支援などをさす。
学習支援	経済的な理由や家庭環境で支援を必要とする子どもに対して行われる。昨今では、こども食堂やこどもの居場所等ですべての地域の子どもに対して支援の場が提供されることもある。
生活福祉資金フォローアップ事業	コロナ禍で顕在化した生活福祉資金（社協の行う生活費等の貸付事業）の借受人等生活困窮者が抱える生活の困りごとへの支援を行う事業
要援護者	何らかの支援を必要としている人
住民参加型在宅福祉サービス	住民同士による会員制の非営利・有償ボランティア活動です。 ご自身で自立、自助に努めているが、高齢や障がいなどにより、日常生活上でちょっとした困りごとを持つ方（住民）を、（住民による）ボランティア活動でお手伝いする有償の助け合い活動をいう。
認知症カフェ	認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉などの専門家など誰もが気軽に集い、情報交換や相談、認知症の予防や症状の改善を目指した活動ができる。 栃木県内認知症カフェ一覧（栃木県公式HP参照ください。 <a href="https://www.pref.tochigi.lg.jp/e03/ninchisyoun-cafe.html">https://www.pref.tochigi.lg.jp/e03/ninchisyoun-cafe.html</a> ）